

# 止まらない円安 厚く

外國為替市場の円相場が一時一ドル=一三五円台前半まで下落し、日本経済が金融危機に陥れた一九九八年以来の円安ドル高水準に突入した。金融引き締めに動く米欧と日銀の金融政策の違いを語るに、金融市場では一ドル=一四〇円を超える円安も視野に投機的な動きが強まっている。

## ▼大 摆 れ

十三日で約二十円もの急速な円安が進んだ要因は、日本十二日の東京市場は大揺れとなりた。円相場が対ドルで二十四年ぶりの安値を付けると、日経平均株価は前週末比八〇円超の大幅下落。十一年物国債の価格は日銀が無制限に買い入れる「指し値オペ」を実施したにもかかわらず、一時値下がり(利回りは上昇)した。さながら「日本売り」の様相を呈した。

1998年 日本長期信用銀行と日本債券信用銀行が経営破綻  
2011年 東日本大震災発生  
12年 第2次政権発足  
21年 岸田政権発足

6月13日午後5時現在 134円59銭

1998年2000 05 10 15 20 22



参考決算委員会で答弁する日銀の黒田総裁=13日

強まった。

十三日の取引時間中に開かれた参院決算委員会で「円安は国力の低下だ。日銀が身動きがとれない」と市場は見透かしているなどと追及する野党議員に対し、日銀の黒田東彦総裁は「政府と緊密に連携し、為替市場の動向や経済、物価への影響を十分注視したい」と防戦一方となつた。

## ▼25年前は

四半世紀前の日本経済は、一九九七年に発生したアジア通貨危機や、北海道拓殖銀行、山一証券の経営破綻による金融危機を背景に、急速な円安が進んだ時期に当たる。

一

## 日銀打つ手なし 140円台視野

四七円台まで下落し「日本経済への悲観論から、資金が海外に逃避するとの懸念が強まっていた」(マネックス証券の吉田恒チーフ・FXコンサルタント)。

龍谷大の竹中正治教授は

「製造業が海外拠点を増やした結果、当時と比べて円安による輸出増や雇用拡大の期待は薄れている」と指摘する。

## ▼望み薄

市場関係者が心配する円安を見込む。「一一九月後最大一ドル=一四〇円に達する可能性がある」と話すのは、みずほ証券の山本雅文チーフ為替ストラテジスト。財務省は現段階で為替介入しないとの見方だ。ソニー・フィナンシャルグループの尾河真樹金融市場調査部長は「F.R.B.がインフレを抑え込めず激しい利上げに追い込まれれば一四〇円、一四五円が視野に入る」とした。三井住友銀行の鈴木浩史エコノミストも「円高に向かう材料が乏しい」と話す。低金利の円で融通した資金を高金利の海外通貨で運用する「円キャリー取引」が活発化し、一段と円安が進むとの声もある。第一生命経済研究所の熊野英生首席エコノミストは「秋以降、ゼロ金利近くで資金を調達できるのは日本だけになる」と指摘した。